

活動報告

団体名	一般社団法人熊本県鍼灸マッサージ師会
活動名	仮設住宅で生活をされている方々に対する鍼灸マッサージによる健康支援活動
活動期間	2017年10月～2018年3月
活動の成果	<p>被災後、自宅を追われ避難所生活から仮設住宅へと生活の場を移さなければならなかった方々で、神経系・運動器の不調からくる生活機能病や生活習慣病、生活不活発による体調不安がある方々に対して、少しでも心身の状況が回復するように、鍼灸マッサージを主とした健康支援活動とともに介護予防体操や健康講和などのサロン活動を行いました。</p> <p>毎週曜日と時間を決めて、鍼灸マッサージ施術および筋力維持強化の体操を行い、その必要性を説明するとともに、より一層の健康意識を高めるために東洋医学健康講和や家庭で手軽にできるツボ療法などの座学を実施しました。</p> <p>鍼灸マッサージの施術に関しては、利用者一人一人の施術記録を付け、個々が持つ心身の問題点を担当者全員で共有し、定期的にしっかり活動したことにより、多くの利用者の方々に症状の緩和と安定がみられ、活動に対して大きな支持を得ることができました。</p> <p>昨年2月からの仮設住宅での利用者は79日間で延べ1,250名に上っています。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>皆様の浄財によって2年間の活動ができました。</p> <p>鍼灸マッサージ師が緊急災害発災直後の急性期から亜急性期、そして慢性期に至るまで、その活動する時期によって役割は変わってきても、資格を以て活躍する場を見いだせた事は非常に有意義な事であったと思っています。</p> <p>また、拠点避難所(H28.5.9～9.15)と仮設住宅(H29.2.15～H30.3.31)では、毎週曜日と時間を決めて定期的に活動することで、心身の問題を抱えた被災者の方々に責任を持って鍼灸マッサージの施術を行うことができ、それが結果に繋がったことは貴重な経験になりました。</p> <p>現在は、生活機能病や健康保持増進、疾病・介護予防のために鍼灸マッサージ施術とともに高齢者には必要な介護予防体操や脳トレ体操などの軽い運動と健康講和を実施しています。</p> <p>今後も仮設住宅の多くの皆様が地域に戻られた後も健康で過ごされるよう、身に付く健康支援活動を継続する予定です。</p>

(活動のようす)

